

とりもどせ！清らかな流れ



平成21年度河川水質調査の結果について

(公表の根拠:八百津町生活排水処理基本計画)

平成21年度河川水質調査の結果についてお知らせします。
 調査は、町内の公共河川16箇所を定点として、毎年5月と11月の2回実施しています。
 八百津町内の公共河川の環境基準は、「公共用水域が該当する水質汚濁に係る環境基準の水域類型の指定」で木曾川中流のA類型に該当します。

水 域	類型
木曾川中流(落合ダムから犬山頭首工まで)	A

調査地点ごとの水域類型は、
 調査結果から次のとおり分類されました。

動向の記号説明 :改善 :横ばい :悪化

河川名	調査箇所	H21	H20	動向	備 考
荒 川	五宝滝駐車場前 頭首工	A	A		大腸菌濃度が低くなればAA類型に改善される。
南 宮 川	東橋下流側		A		
長 曾 川	追分橋下流約10m		A		
旅 足 川	水遊び場下流約10m		A		
荒 川	荒川橋歩道橋上流側		B		大腸菌濃度が低くなった事でA類型になった。
油 皆 洞 川	油皆洞橋歩道橋下流側		B		
杣 沢 川	東部農村センター下農道橋上流側		B		
辛 沢 川	稲荷前橋梁下流側		B		
飯 田 川	中屋敷水管橋上流側		B		
天 王 川	天王橋(和)下流側		B		
石 川	石川橋下流側		B		
下 田 川	下田農道橋下流側		B		
祝 谷	薄野 水門		B		
名 場 居 川	篠原農道橋下流側	B	B		大腸菌濃度が低くなれば、A類型又はAA類型に改善される。
天 王 川	大洞川合流部(伊)橋梁下流側		C		環境濃度は良くなっている。 大腸菌濃度が低くなれば、A類型又はAA類型に改善される。
中 山 川	公民館前水門下流側	D	D		植物性プランクトン(アオコ)等の繁殖により、水質のpH値が高くなっている。 (pH=8.9)大腸菌濃度も前年度より高くなっている。

まとめ

A A類型の河川水域はありませんでした。
 生活排水等からの大腸菌が河川の大腸菌濃度を高めています。大腸菌濃度が低くなる事でAA類型になる河川は13調査地点あります。

A類型の河川水域は、13調査地点になっています。

昨年度が4調査地点でしたので9調査地点多くなっています。9調査地点すべてにおいて大腸菌濃度の改善によりB類型からA類型に改善されました。

B類型の河川水域は、2調査地点になっています。

調査地点No.6 天王川(大洞川合流点橋梁下流側)は大腸菌濃度が改善されC類型からB類型になりました。

調査地点No.16 名場居川(篠原農道橋下流側)は、昨年度もB類型で変化はありません。どちらも大腸菌濃度が改善されれば、A類型またはAA類型になります。

C類型の河川水域は、ありませんでした。

D類型の河川水域は、中山川(公民館前水門下流側)の1調査地点でした。

要因は、水質のpH値が異常に高くなったことによるものです。

生活排水中の窒素、燐の濃度が高くなると、植物性プランクトンが異常に繁殖します。

植物性のプランクトンの光合成作用により、水中の炭素を消費することで水質がアルカリ性になり、pH値が高くなります。

平成21年度の調査では、10調査地点で環境濃度が改善され、6調査地点で環境濃度の変化はみられませんでした。また、河川水の環境濃度が悪くなった調査地点はありませんでした。